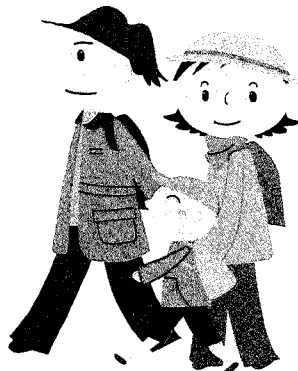


ある雑誌に、最近政治家として、そして一個人として最も憂えていることは教育問題ですとして次のような内容が載せてありました。今回のこのシリーズの担当者も、頷ける内容でしたので、子どもたちの健全育成を考える上で参考にしていただければと思います。

「略……ナイフが人を殺すのではなく、人の心が人を殺すのですから……」

私が生きているところは今のよう便利で、電動の鉛筆削り器はなかった。筆箱の中にみんな切り出しナイフを持っていて、それで鉛筆を削っていました。学校の帰り道、ナイフで竹を削って竹とんぼを飛ばしたり、釣った魚を捌いた。ナイフは子どもたちにも日常生活の必需品でした。ナイフで手を切ったりした痛み、その経験によってナイフの扱い方、恐ろしさも体で知ったものでした。ですから、私たちの世代にとって、ナイフを持つていたことは当たり前のことであり、ナイフを取り上げれば事件は防げるという考え方は、ナンセンスだと感じます。

何か事件が起こると、教師や教育委員会は、父兄やマスコミから批判されることを恐れて、子ども



に危険なことをさせないように規制します。しかし考えてみれば、規制自体、ビッグバン時代を迎えた今に逆行する話です。過保護のひ弱な人間をつくりてしまいます。自然や実社会において、常に危険なことがあると体験させ教えるのが教育ではないでしょうか。逆に、危険だからといってそれを教えないのなら、それは教育とは呼べません。

今、「心の教育」ということが叫ばれていますが、その基本は親の愛情です。生活を豊かにするためにといて両親とも仕事などに忙殺され、多感な年代の子どもに対して十分な関心を払ってやっています。大自然の中に身を置いて、その豊かさや美しさや恐ろしさを体験し、また、団体行動の中に身を置いて、人間は社会的な存在だということを知り、子どもたちに経験させることも大切なことではないでしょうか。次代を支える子どもたちの教育は、私たち大人すべての責任なのですから……。……略」

危険であること遠ざけるだけでなく、体験を通して危険であ

ること、痛みを感じること、そしてそのことによって人の痛みや危険性を感じとり、それに見合う行動や判断力が備わるといふこと、また心の教育の基本は、親の愛情であることが述べられています。考えさせられる内容だと思っています。

さて、ここに引用した政治家の方がふれていた大自然の中の体験も人が育つ上で大切であるといふことについてですが、今の子どもたちは、やはり自然体験が少なくなっています。それは身の回りに自然が少なくなってきたといふことだけではなく、社会生活の変化により子どもたちが自然体験をする時間・機会が減ってきているといふことではないでしょうか。ですから、線引きは難しいが、いわれる大人がよく言う自然体験は、親がかなり意識して行動しないと、今の子どもたちと同じようには望めないのではないのでしょうか。

自然体験の中で感じる畏敬の念、動物を目の当たりにし、ふれたの命の尊さ、友と歩き回る中で助け合いなどが、その子どもたちの年齢や自然体験に応じた心の動きをし、人が成長して行く過程においての貴重な宝物であるはずですが、「あれも大事、これも大事、そしてあのことも大事」親は子どもたちのためにと、ついつい多くのことを要求してはいないでしょうか。子どもが人として生きていくために本当に大切なものは何なのか、今一度振り返って考えてみたいものです。

伝言板

大月保健所

大月市大月町花咲16008-3

☎(22)7824

看護婦などの再就職相談を行っています

あなたの技術を再び社会に

生かしてみませんか

高齢社会を迎え、県民の健康と幸せな生活が一層求められています。こうした中で、病に苦しむ人々の看護とともに、高齢者の看護の充実がますます必要となつてきています。しかしご承知のように、県内では深刻な看護婦不足の状況にあります。

＊現在就業していない保健婦(士)助産婦、看護婦(士)、准看護婦(士)の方で、

○機会があれば再び看護の仕事に戻りたいと考えていらっしゃる方

○どこに相談してよいのかわからない方

を対象に相談窓口を設置しています。

＊相談は、保健所職員により随時行っています。

＊相談を通して知り得た個人に関する秘密については厳守します。

お気軽にご相談ください。

問合先 大月保健所 保健指導課



えんげ

嚥下障害のチエック・ポイント

生き甲斐ともなる食事を大切に

咀嚼障害は、虫歯・口内炎、あごの間接運動障害などの疾患や入歯が合わないことなどによって生じます。嚥下障害は、脳軟化症や脳内出血などの後遺症のために、咀嚼した口の中の食べ物をうまく飲み下すことができないことです。

また、病気がなくても、年齢を重ねるとともに機能が低下したり唾液の分泌量の減少などを原因として嚥下障害を起こします。

嚥下障害の程度は個人差が大きく、そのため障害の程度を見極めてケアすることが大切です。

次のような症状があったら要注意です。歯科医師などに相談し、原因が分かれば治療を受けることも食べやすいように調理の工夫をしましょう。

- 水を飲むとむせる
- 食事中にむせたり、咳がでる
- 食事を始めると喉が増える
- 喉の中に食べ物が混じる
- 喉に食べ物がつまっている感じがする
- 食事中や食後にガラガラ声になる
- 汁物、バサバサしたもの、弾力のあるものを嫌がる
- 飲み込む時に、錠剤を飲む時のように上を向く
- 体重が減少してきた

など。